

事例4 保健福祉部局との連携

市町	那須塩原市教育委員会生涯学習課
事業	母親学級における親学習プログラムの実施～生涯学習課と健康増進課が連携した取組～

1 事業を始めたきっかけ

生涯学習課と健康増進課が連携したこの取組は、平成20年度より実施している。

それまで、生涯学習課では主に小・中学校の保護者を対象とした家庭教育支援として、PTAとの共催や家庭教育学級などによる家庭教育講座を開催していた。また、平成19年度からは、就学前の保護者を対象とした就学時健康診断時に親学習プログラムの実施を始めた。一方、健康増進課においては、主に妊娠期、出産時、子育て期の保護者を対象とした、「母親学級」を実施していた。

そのような中、生涯学習課では、親学習プログラムの活用を拡大できないかと検討していた。そこで、健康増進課が実施している「母親学級」で親学習プログラムを実施できないか提案をした。これに対して健康増進課では「妊婦やパートナーになるための自覚をもってもらう」「妊婦さん同士の仲間作りの場」として効果があると考え、生涯学習課と健康増進課が連携した「母親学級」を行うことになった。

2 活動内容

母親学級の目的は、「①妊娠・出産・育児に関する正しい知識を提供することで、健康の保持増進を図るための望ましい生活習慣に関する意識を高め、自己の健康に限らず家族の健康づくりにつなげる。②赤ちゃんとの生活をイメージすることで、親となる心構えを学習し、安心して育児ができるようにする。③多様化した妊婦の健康問題をとらえ、不安や孤立感なく妊娠から子育て期を過ごせるよう、またひいては乳幼児虐待防止につながるよう支援する場とする。」であり、内容は第1課から第3課で構成されている。

第1課「ママと家族の健康づくり」（保健師・栄養士）

①妊娠中からの健康づくり ②妊娠中から気をつけたい健康的な食生活とは

第2課「赤ちゃんのために妊娠中からできること」（保健師・歯科衛生士）

①生まれてくる赤ちゃんについて（・成長と発達 ・赤ちゃんが泣くということ）

②ママと赤ちゃんの健康な歯を育てよう ③健康相談

第3課「産後のイメージづくりとみんなでトーク」（生涯学習課職員・保健師）

①「赤ちゃんのいる産後の生活をイメージしよう」（生涯学習課による「親学習プログラム」）

②産後のママのこころとからだ ③健康相談

第3課で、親学習プログラム「赤ちゃんのいる産後をイメージしよう」を取り入れ、生涯学習課職員やオピニオンリーダーがファシリテーターとして、プログラムを展開している。また、参加者が親学習プログラムに抵抗なく参加できるよう、第1課でチラシを配布し、親学習プログラムの説明やパートナーへの呼びかけも行っている。



ワークショップの様子

毎年2月には、生涯学習課と健康増進課で、実施した内容について意見交換を行い、次年度に向けてプログラム内容等を検討している。

3 成果と課題

○成果

<健康増進課>

- ・座学だけではなく動き（アイスブレイク・ワークショップ等）があることで、参加者が飽きずに取り組むことができる。
- ・それまでは妊娠期、出産、産後1～2か月の期間に着目した内容だったが、親学習プログラムを取り入れたことで、妊娠から出産、子育て期を通して広い視野で今後のライフステージをイメージするきっかけとなっている。
- ・保健師ではない生涯学習課の職員が講義をすることで、新鮮な気持ちで話を聞いてもらえた。

<生涯学習課>

- ・生涯学習推進プランの施策である「家庭教育」の推進につながる。
- ・家庭教育オピニオンリーダーとの連携を図る機会となっている。
- ・親学習プログラム実施により、「他のお母さんの話が聞ける」「知り合いが増える」など、ネットワーク作りの一助となっている。
- ・チラシの配布で、パートナーの参加も増えている。

○課題

- ・パートナーの参加率をあげていきたい。また、ふりかえりの中で、「父親になるための準備をしなければいけないと感じた。父親を教えてくれるプログラムもあればいい。」との声があることから、男性向けの内容も考えていく必要がある。
- ・年を重ねるごとに、オピニオンリーダーと妊婦との年齢差が広がっている。妊婦の年齢に近い、若い世代のオピニオンリーダーも開拓する必要がある。

4 その他

○今後の展開

参加者のふりかえりを読むと「周りに相談する相手がいなくて、話せて良かった」「同じことで悩んでいる人がいて良かった」などがある。この母親学級でせっかくできたネットワークも、1回限りのワークショップで終わってしまっているため、このネットワークをオピニオンリーダーがやっている子育てサロンにつなげたり、ネットワークを広げていけるような活動に発展したりできるように仕掛けを考えていきたい。

（調査協力：那須塩原市教育委員会生涯学習課 副主幹・指導主事兼社会教育主事 高山貞徳）



チラシ



親学習プログラムに参加するパートナーの様子